

山火事にはご注意を！！



山火事は、空気が乾燥している中、『小さな火の粉』が山に移ること等で発生し、見る見るうちに燃え広がることで大きな被害を出すことになります！！

乙訓消防では、資器材取扱い訓練や山火事を想定した訓練を実施することで災害が発生した場合でも被害を最小限にできるように努めています。

【資器材取扱い訓練】



これは、『ジェットシューター』という資器材です！！

消防隊員が背負い、主に残り火など小さな火種を消火するために使用します。

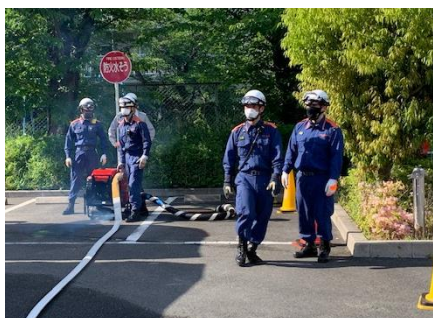
(容量：水18リットル)



これは、『**小型動力ポンプ**』という資器材です！！

山道など消防車が入ることができない場所へ搬送し、登山口から一番近い消防水利（消火栓、防火水槽、川など）から水を確保し、放水をすることができます。

【山火事対応訓練】



山火事が起こった場合、消防水利（消火栓、防火水槽、川など）から燃えている場所までの距離や高さがあり、ホースを延ばす量が増えるため、上記でご紹介した**小型動力ポンプ**を配置することで適正な放水を行えるようにしています。

※ちなみに小型動力ポンプの重さは、約100kgあり、場合によっては、消防隊員が数百メートルの距離の山道を運ぶことがあります。